

1973年2月6日(火)7時 京都会館第2ホール 入場料 ¥1,200

フルート独奏 カール・ハインツ・ツェラー (前ベルリン・フル首席奏者) 共演 モーツァルト室内管弦楽団
指揮 門良一

モーツァルト フルード協奏曲第1番ト長調KV313 J.S.バハ 管弦楽組曲第2番ロ短調BWV1067 J.C.バハ シンフォニア変ホ長調 作品9の2

カール・ハインツ・ツェラー フルード協奏曲の夕



*W. A. Mozart Flöten-Konzert G-Dur KV 313 J. S. Bach Suite Nr. 2 h-Moll BWV 1067
J. C. Bach Sinfonia Es-Dur Op. 9 Nr. 2*

Flöten-Konzert Abend mit Karlheinz Zöllner und dem Mozart-Kammerorchester

Zeit: 6. Februar, 1973 7pm Ort: Kyoto Kaikan II

主催 モーツァルト室内管弦楽団・京都会館文化センター 後援: 十字楽器器店 協賛: 日本フルード協会・株式会社村松フルード製作所

京都・大阪市内プレイヤードで前売中

お問い合わせ 京都会館文化センター TEL. 075/761-2188



古典に、現代作品に、独特の美しい音色、よどみない

テクニックで魅了するドイツのフルーティスト

カールハインツ・ツェラー

KARLHEINZ ZOELLER

フランクフルトとデトモルトのホーホシュレで学ぶ。

1960年～1968年、ベルリン フィルのソロ フルーティストとして活躍。

1961年～1968年、ベルリンのムジーク ホーホシュレの講師、教授活動。1969年以來、ハンブルグで教授活動のかたわら、オーケストラとのコンサート、室内楽、リサイタルなどに多彩な活動を展開する。

ドイツ国内、又は国際的な多くの賞に輝く。その中でも、とりわけ1968年のクラニヒ シュタイナー音楽賞とクリティック賞が有名である。多忙をきわめる中で、ソリストとしてあるいは「ベルリン フィル ソリステン」のリーダーとして 彼の演奏旅行は多くのヨーロッパ諸国、中近東、南北アメリカと広範におよんでいる。

又、多数のレコードが、グラモフォン・レコード並びにエンジェル・レコードより発売され、いずれも名盤ぞろいと評判が高い。

数年前のカラヤンとベルリン・フィルの来日の際には、同オーケストラの首席フルーティストとして わが国を訪ずれ、その的確なテクニックと澄んだのびやかな音で、フルートの真髄を被露した。

いわゆる“幻のフルーティスト”のひとりとして以前からそのソリストとしての来日が多くフルート愛好者、音楽ファンから待ち望まれていたが、ようやく実現することになる。最近、特にフルートファンの好む現代作品をはじめ、前古典、バロックのすぐれた演奏はドイツの名手、ツェラーの重厚な独特のひびきと共に聴衆の心を深くとらえることだろう。